

JIS Z 2305:2013 による 新規認証申請実施案内



一般社団法人 日本非破壊検査協会 認証事業本部

* 本書は、一般社団法人 日本非破壊検査協会 認証事業本部が実施する JIS Z 2305:2013 に基づく資格制度における資格認証について書かれたものです。実施案内は最後までよく読んで、資格認証審査結果が出るまで大切に保管してください。

* 本書は JIS Z 2305:2013 に基づく内容です。規格の改正等により資格及び認証制度が改正された場合、変更等もありますので予めご了解ください。

今期の新規認証申請書の受付期間＜資格証明書発効日：2016年04月01日＞

2016年1月21日（木）～2016年2月3日（水）必着

＜新規認証申請実施日程＞

	4月1日発効資格	10月1日発効資格
①新規認証申請書の発送 二次試験結果通知と一緒に送付されます	1月中旬	7月中旬
②新規認証申請書の受付期間 上記「今期の新規認証申請書の受付期間」参照	1月下旬～2月上旬	7月下旬～8月上旬
③新規認証審査結果と認証申請料振込票の発送	2月下旬	8月下旬
④認証申請料の振込 認証申請料振込票に記載された「振込期限」参照	3月	9月
⑤資格証明書の発送 認証申請料の入金確認後に順次発送	3月	9月

＜新規認証申請実施案内目次＞

1. 新規認証申請とは	2 ページ
1.1 認証の条件	2 ページ
1.2 新規認証申請の有効期間	2 ページ
2. 視力検査とは（JSNDI ホームページ「(EA5) 視力検査証明書 様式 V-1」参照）	2 ページ
3. 工業に関わる経験とは	2 ページ
3.1 レベル1及びレベル2の最小限の経験期間	3 ページ
3.2 レベル3の最小限の経験期間	3 ページ
3.3 限定 NDT 方法のレベル1及びレベル2の最小限の経験期間	3 ページ
4. 新規認証審査の流れ	4 ページ
5. 書類チェックと審査について	4 ページ
6. 提出書類	4 ページ
7. 送付先・問合せ先	5 ページ
8. 料金	5 ページ
9. 誓約書について	5 ページ
10. 非破壊試験に関わる者の倫理規程	5 ページ
11. 登録情報の変更について	6 ページ
12. よく寄せられる質問	7 ページ
13. 新規認証申請書の記入方法について	8 ページ
14. 新規認証審査適格後の資格証明書発送スケジュール	13 ページ
＜巻末資料＞レベル2及びレベル3用 NDT 方法別経験記入例	14 ページ

1. 新規認証申請とは

新規試験に合格した方は、認証の条件を満足したのち新規認証申請を行うことで、認証資格（資格証明書）を得ることが出来ます。試験を合格しただけでは、認証資格を得ることはできません。資格証明書の有効期間は5年間です。

1.1 認証の条件

認証の条件	備考
訓練	受験申請時に確認済
視力検査	受験申請時及び新規認証申請時に確認します
試験の合格	合格者に新規認証申請書が発送されます
工業に関わる経験	新規認証申請時に審査されます

1.2 新規認証申請の有効期間

新規認証申請書の有効期間は2年間です（新規試験合格から2年間）。

* レベル3では新規試験合格から2年間の申請有効期間だけでは認証の条件(工業に関わる経験)を満足できない場合があります。要求される最小限の経験期間(2.2項)を参照し、認証申請時に不足が生じないように受験前に適切な期間の業務経験を積むようにしてください。

2. 視力検査とは（JSNDI ホームページ「(EA5) 視力検査証明書 様式 V-1」参照）

新規認証申請では、1年以内に視力要求事項を満たしていることを確認致します。

1年以内に行われた視力要求事項の検査結果に基づき、雇用責任者が証明しなければなりません。視力検査の要求事項としては次があります。新規認証申請では、色覚要求事項は不要です。

<近方視力要求事項>

Times New Roman N4.5 [Jaeger number 1 でも可] の文字（様式 V-1 参照）について 30 cm以上離れて単眼又は両眼（視力矯正可）で判読できること。近方視力については受験申請前及び資格取得後毎年1回実施し、雇用責任者が本書類（原本）又は本書類の様式に準じた記録を毎年保管し JSNDI から提示を求められた場合は提出をしてください。

* 新規認証申請では、視力検査証明書の提出の必要はありません。

3. 工業に関わる経験とは

工業に関わる経験とは、認証資格を得るため必要な「申請する NDT 方法・分野における工業に関わる経験」です。

NDT 業務経験は、資格付けされた監督（12 項参照）の下で得なければなりません。

下表が NDT 方法・レベル別の工業に関わる最小限の経験です。

NDT 経験は、公称 40 時間/週を基にします。40 時間/週を超えて業務等を行っている場合は、総労働時間に基づいた経験の月数として加算できますが、その NDT 経験の証拠の提出が必要です。

なお、複数 NDT 方法の同時申請等による経験期間の削減はできません。

3.1 レベル1及びレベル2の最小限の経験期間

NDT 方法	レベル1	レベル2	
		レベル1 資格保持者	レベル1 資格非保持者
RT、UT、ET	3か月	9か月	12か月
MT、PT、ST	1か月	3か月	4か月

レベル1 資格保持者とは、申請する NDT 方法のレベル1 資格を保持している方です。

3.2 レベル3の最小限の経験期間

JSNDI では、レベル3 受験条件としてレベル2 資格保持を要求しています。

NDT 方法	レベル3	
	2年以上の工学又は科学の履修あり	2年以上の工学又は科学の履修なし
RT、UT、ET	18か月	36か月
MT、PT、ST	12か月	24か月

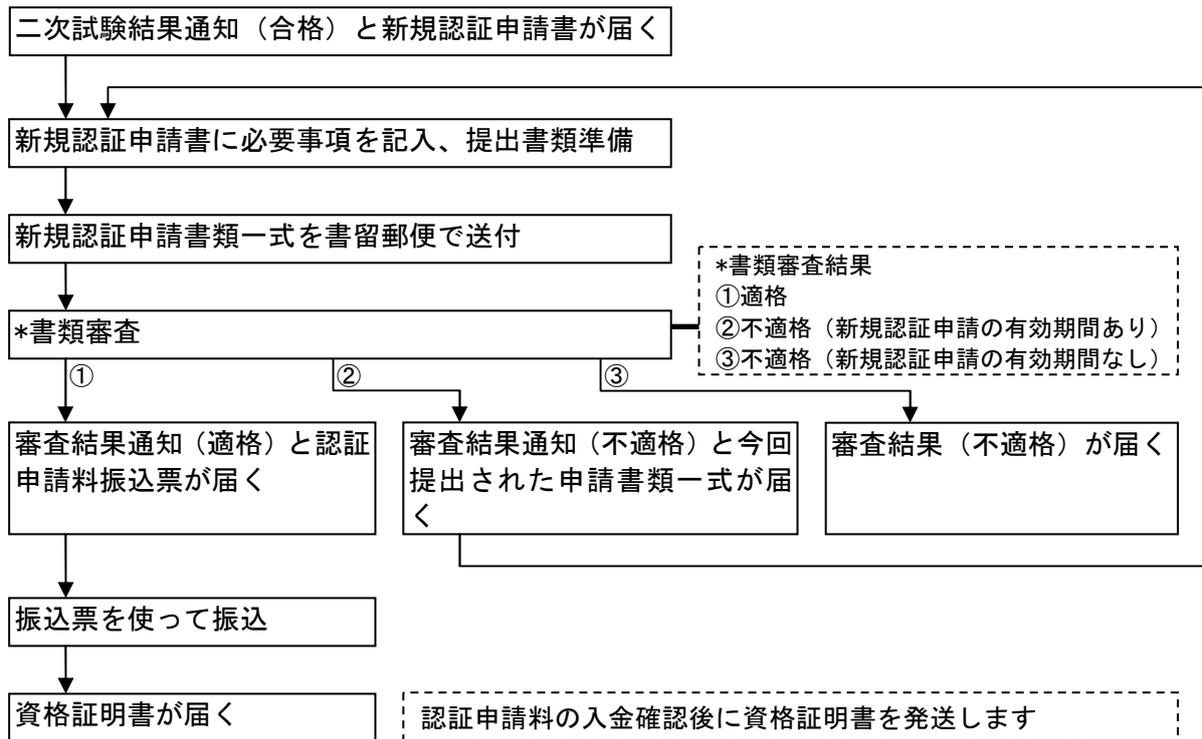
- ・2年以上の工学又は科学の履修とは、技術専門学校又は認定された短期大学、単科大学若しくは総合大学で履修する2年以上の工学又は科学のことです。
- ・「2年以上の工学又は科学の履修」による削減を求める場合、上記で示す学校が発行した『成績証明書（原本）』を提出しなければなりません。
- ・「2年以上の工学又は科学の履修」による削減の審査は所管委員会において実施されます。どのような科目をどの程度履修していれば削減の対象となるかは、個人ごとに履修した科目等で異なりますので、所管委員会が『成績証明書』の内容で判断致します。したがって、事前にお問合せいただいてもお答えすることはできません。
- ・削減が認められず最小限の経験期間を満足できなかった場合、不適格となります。新規認証申請の有効期間（1.2 項参照）が残っている場合は、次回改めて申請いただくこととなります。
- ・また、2016年2月以降に「2年以上の工学又は科学の履修」が確認されている（審査で「適格」となっている）場合、改めて成績証明書を提出する必要はありません。新規認証申請書の「L3 成績証明書確認」欄に『適格』、及び、「レベル3 新規認証申請者記入」欄に『履修確認済』と印字された方は提出不要です。

3.3 限定 NDT 方法のレベル1及びレベル2の最小限の経験期間

限定 NDT 方法	レベル1	レベル2	
		レベル1 資格保持者	レベル1 資格非保持者
UM	2か月	—	—
MY、PD	1か月	2か月	3か月
ME	1か月	—	—

レベル1 資格保持者とは、申請する限定 NDT 方法のレベル1 資格を保持している人です。

4. 新規認証審査の流れ



5. 書類チェックと審査について

新規認証申請書類の提出後に事務局による書類チェックが行われます。

書類チェックにおいて、提出書類の不足や記入漏れ、不備等が確認されると事務局から連絡がありますので、速やかに修正等の対応をお願いします。

書類チェックの後、認証事業本部査定委員会による審査が行われます。

審査では提出された書類に対する適否が確定しますので、不適格の判定後に書類を修正することはできません。

6. 提出書類

提出書類は次のとおりです。過不足のないよう注意してください。

- 新規認証申請書
 - 成績証明書*：レベル3申請者の中で必要に応じ
 - レベル1資格証明書コピー*：レベル2申請者の中で必要に応じ
- 住民票の写し（原本）、又は、有効な JSNDI 資格証明書のコピー
 - 変更届：必要に応じ

* 成績証明書：レベル3で2年以上の工学又は科学の履修による削減を求める場合に必要。ただし、以前に成績証明書の審査で『適格』となっている場合は不要。『適格』となっている場合、新規認証申請書の「L3 成績証明書確認」欄に『適格』、及び、「レベル3新規認証申請者記入」欄に『履修確認済』と印字しています。

* レベル1資格証明書コピー：レベル2申請者でレベル1資格保持による削減を求める場合に必要。

7. 送付先・問合せ先

書留郵便（簡易書留可）で下記宛に受付期間必着で送付してください。

一般社団法人 日本非破壊検査協会 認証事業本部 新規認証申請係

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル10階

TEL03-5609-4014

* 勤務先等で提出する新規認証申請書が複数枚ある場合、一つの封筒にまとめて送付いただいても構いません。ただし、何通分同封したのか封筒に明記してください（通数の確認だけ行います）。

8. 料金

新規認証審査で適格となると審査結果通知（適格）と認証申請料振込票が届きます。

審査適格後に1申請につき「13,000円+消費税」がかかります。

9. 誓約書について

新規認証申請者と雇用責任者は「非破壊試験に関わる者の倫理規程（以下、倫理規程という）」に同意した上で、新規認証申請書に氏名と押印をしてください。

新規認証申請書に氏名と押印をすることで倫理規程に同意した誓約とします。

10. 非破壊試験に関わる者の倫理規程

日本非破壊検査協会認証事業本部が実施する認証制度における非破壊試験に関わる者は、「非破壊試験に関わる者の倫理規程（下記参照）」を遵守しなければなりません。

日本非破壊検査協会認証事業本部に提出される書類等に氏名を記入する（又は、記載を許可する場合、「非破壊試験に関わる者の倫理規程」を了解のうえ、記入（又は、記載）したものとし、倫理規程を遵守する責任があります。

非破壊試験に関わる者の倫理規程

一般社団法人 日本非破壊検査協会 認証事業本部（以下、JSNDI 認証事業本部）が実施する認証制度（JIS Z 2305「非破壊試験技術者の資格及び認証」）における非破壊試験に関わる者が遵守すべき倫理規範を以下のとおり定める。

また、「非破壊試験に関わる者」とは、JSNDI 認証事業本部が実施する認証制度に関わる雇用主、訓練に関わる者、申請者、資格証明書保持者及びそれ以外の立場で認証制度に関与する者とする。

1. 使命

非破壊試験に関わる者は、その専門的知識と経験に基づき、非破壊試験技術の健全な普及と強化に努め、社会に信頼される非破壊試験技術を供給することに努めなければならない。

2. 法の遵守

非破壊試験に関わる者は、法令を遵守するとともに、本倫理規程及び遵守事項に従わなければならない。

3. 品位の保持

非破壊試験に関わる者は、自らの使命の重要性に鑑み、品位の保持に努め、高い社会的信頼を保持するように努めなければならない。

4. 社会への貢献

非破壊試験に関わる者は、非破壊試験技術の健全な普及と強化のために、自身の業務成果について積極的に社会に対して情報を発信し、後進の育成に協力しなければならない。ただし、自身が遵守すべきあらゆる組織や団体の守秘義務に違反することがあってはならない。

5. 不正行為の禁止

非破壊試験に関わる者は、当協会の資格試験、資格の認証行為及び認証資格について、以下の行為を代表する一切の不正行為をせず、自らの行動を規律するよう努め、正々堂々と非破壊試験に関わる者として社会に対し価値を提供しなければならない。

- (1) 虚偽の情報登録及び申請。
- (2) 情報の捏造。
- (3) 受験申請者以外の第三者による資格試験の受験。
- (4) 認証資格の不正利用。
- (5) その他、社会的モラルを逸脱した行為。

6. 自己研鑽

非破壊試験に関わる者は、常に自己研鑽に励み、非破壊試験技術の健全な普及と強化のために最新の知識と技術の獲得に継続的に努めなければならない。

7. 倫理規程違反に対する処置

非破壊試験に関わる者が本規程に抵触すると考えられる場合、又は、非破壊試験に関わる者として著しく体面を汚したと考えられる場合、JSNDI 認証事業本部は適切な処置を行う。

8. 規程の変更

この規程は、JSNDI 認証事業本部の決議により変更することができる。

以上

11. 登録情報の変更について

新規認証申請書と一緒に「登録情報確認票 兼 変更届け」が送付されています。

「登録情報確認票 兼 変更届け」の記載内容に変更のある場合は、「登録情報確認票 兼 変更届け」の変更欄に変更内容を朱書きし、登録者本人の署名・押印のうえ新規認証申請書と一緒に提出してください。

登録情報に変更のない場合は、「登録情報確認票 兼 変更届け」の提出の必要はありません。

<業種一覧>

No.	業種	No.	業種	No.	業種
01	検査	08	プラント・エンジニア	15	中立機関
02	鉄鋼	09	鉄道	16	航空／航空宇宙
03	造船	10	装置メーカー	17	自動車
04	鉄鋼ファブリケータ	11	金属	18	上下水道
05	電力	12	建築	19	道路
06	ガス	13	学校	20	その他
07	石油化学	14	官庁		

12. よく寄せられる質問

Q 雇用主の証明は誰がするのでしょうか？

A 資格保持者の業務活動について証明できる方。例えば、資格保持者の上司の方など。

Q 雇用主証明の押印は、会社印ですか、個人印ですか？

A どちらでも構いません。

Q 申請者が雇用主、又は、個人事業主の場合、証明は誰がするのでしょうか？

A 申請者は、雇用主の立場で、雇用主に帰する全ての責任を負うことで証明してください。

Q 書類は書留郵便で送らなければなりませんか？

A 必ず送付した記録（控え）が残る方法（簡易書留等）により受付期間必着でお送りください。その記録（控え）は新規認証申請の審査結果が出るまで保管してください。

Q 資格付けされた監督とは、どのような人（監督）ですか？

A 新規認証申請者と同じ NDT 方法の資格保持者、又は、NDT 業務部署の所属長（監督）です。

Q 監督とは、どのようなことを指しますか？

A 他の NDT 技術者が実施する次の行為を指示・管理し、責任を持つことです。NDT 技術者につきつきりで監督することではありません。

・ NDT 適用 ・ NDT 準備 ・ NDT 実施 ・ NDT 結果報告

Q 認証申請料（登録料）の払い込みが遅れた場合、資格発効日はどうなりますか？

A 資格発効日ごとに新規認証審査を実施していますので、払い込みが遅れても資格発効日に変わりはありません。払い込みが遅れた場合、別途手続きが必要となりますので、事前に認証事業本部に連絡を入れてください。なお、資格発効日（予定）から 12 か月を超えて払い込みが遅れてしまった場合、新規認証審査結果は無効となり、資格証明書は発送できませんのでご注意ください。

Q 新規認証申請で資格証明書を取得した 5 年後の手続きはどのようになりますか？

A 更新審査を実施します。時期になりましたら指定された連絡先へ所定の用紙を送付します。詳細については、「更新審査実施案内」をご覧ください。

13. 新規認証申請書の記入方法について

表面

A : 署名、顔写真

B : NDT 業務経験期間

C1 : レベル2 申請者記入欄

申請書有効期限：20●年●期受付期間まで

私は倫理規程に同意するとともに本書の記載内容に相違ないことを証明します
申請書提出日(西暦) 2020 年 10 月 11 日

非破壊 一部 非破壊 一部

申請 NDT 方法・レベル | 放射線透過試験レベル3 (RT3)

<NDT 経験期間記入欄>

A. すべての NDT 方法の NDT 経験期間

NDT 経験開始日	2012 年 04 月 01 日
NDT 経験終了日	2016 年 04 月 20 日
NDT 経験月数	48 か月

B. NDT 方法別経験

NDT 方法	経験割合 (%)	NDT 別 経験月数	申請する NDT 方法・レベルの最低経験月数
R T	40 %	19 か月	≥ 18 か月
U T	10 %	4 か月	—
M T	—	—	—
M Y	30 %	14 か月	—
M E	—	—	—
P T	—	—	—
P D	20 %	9 か月	—
E T	0 %	0 か月	—
S T	0 %	0 か月	—
T T	0 %	0 か月	—
L T	0 %	0 か月	—
その他	0 %	0 か月	—
計	100 %	—	—

<申請 NDT 方法の最低経験月数の削減申請欄>

レベル2 新規認証申請者記入欄

レベル3 新規認証申請者記入欄

写真保護シール
貼り付けた写真を
保護するために写
真を覆うように専
用シールを貼り付
けます

既に工学又は科学の
履修の確認を受けて
適格となっている方
は、「L3 成績証明書
確認」欄に『適格』、
「レベル3 新規認証
申請者記入欄」に『履
修確認済』と印字さ
れています

最低経験月数

C2 : レベル3
申請者記入欄
経験期間削減の必要
がない場合、記入の
必要はありません

A : 署名、顔写真

- ①新規認証申請書提出日を記入してください。記入のない場合は、申請書到着日をもって申請書提出日とするとともに証明日と見なします。
- ②太線枠 2 箇所に線に重ならないよう新規認証申請者が署名をしてください。この署名欄に記入された署名が資格証明書の署名として登録されます。署名欄 2 つのうち登録を希望する署名の右横の口 に✓を記入してください。
- ③新規認証申請者が押印します。
- ④新規認証申請者の顔写真を貼ります。この顔写真が資格証明書の顔写真として登録されます。次の「顔写真の注意事項」に該当する場合は、他の写真の再提出を求める場合があります。

<顔写真の注意事項>

- ・申請者本人のみが撮影されたもの。
- ・提出の日前 6 か月以内に撮影されたもの。
- ・縁なしのもの(縦 30mm×横 24mm)。
- ・正面を向いたもの(中心からずれている、顔が横向き、傾いている、影が写っているものは不可)。
- ・背景(影を含む)がないか若しくは薄いもの(白髪の方は背景がなるべく濃いものに)。
- ・眼鏡、ヘアバンド、帽子などにより顔の一部が隠れていないもの(サングラス、フレームが目にかかっている、フレームが非常に太い、眼鏡に照明が反射、幅広のヘアバンド、帽子、マスク、前髪で目元が見えない等は不可)。
- ・人物を特定しやすいもの(平常時の表情と著しく異なる、背景がきつく人物を特定しにくい、ピンボケ、顔に影がある等は不可)。
- ・デジタル写真の品質に乱れがないもの(ノイズ、にじみ、ジャギー(階段状のギザギザ)、画像処理をしているものは不可)。
- ・変色や汚れ、きずがないもの。
- ・写真専用紙に印刷したもの。

<写真保護シール>

- ・「写真保護シール」は、「新規認証申請書」に同封されています。
- ・「新規認証申請書」に必要事項記入及び顔写真貼付後、顔写真を覆うように「写真保護シール」を貼ってください。「写真保護シール」が印鑑に重なっても構いません。
- ・「写真保護シール」が上手く貼れずに顔写真の上でシワになってしまった場合、無理に剥がさずにそのままとし、顔写真を1枚余分に提出してください。
- ・「写真保護シール」が顔写真に貼る前に粘着部同士が貼りついて貼れなくなった、又は、汚れてしまった場合は、「写真保護シール」を貼らずに提出してください。

B：NDT 経験期間

- ①すべての NDT 方法の経験期間を記入します。「NDT 経験開始日」と「NDT 経験終了日」を記入し、その期間の月数を計算して「NDT 経験月数」に記入してください。

月数が1か月に満たないものは切り捨ててください。

また、開始日から終了日までの間に NDT 方法の業務等に携わっていない期間がある場合は、その期間を除いて「NDT 経験月数」に記入してください（記入例2参照）。

<記入例1>2012年4月1日から2016年4月20日まで連続して NDT 業務等に従事

NDT 経験開始日	NDT 経験終了日	NDT 経験月数
2012年04月01日	2016年4月20日	48か月

* 2016年4月20日－2012年04月01日⇒4年（48か月）と20日間⇒48か月

<記入例2>2012年4月11日から2014年9月30日、2015年6月1日から2016年4月20日の期間に NDT 業務等に従事

NDT 経験開始日	NDT 経験終了日	NDT 経験月数
2012年04月11日	2016年4月20日	40か月

* 2014年09月30日－2012年04月11日⇒2年5か月（29か月）と20日間

* 2016年04月20日－2015年06月01日⇒10か月（10か月）と20日間

* 「29か月と20日間」＋「10か月と20日間」⇒39か月と40日間⇒40か月と10日間⇒40か月

- ②「経験割合（%）」は、上記①で記入した NDT 経験期間中における NDT 方法別の経験の割合です。合計で100%になるよう割合を記入してください。

③「NDT 別経験月数」は、上記①の「NDT 経験月数」と上記②の「経験割合 (%)」から計算して記入します。小数点以下は切り捨ててください。

なお、「NDT 別経験月数」は小数点以下を切り捨てていますので、「NDT 別経験月数」を合計しても上記①の「NDT 経験月数」にはなりません。

<計算例>すべての NDT 方法の「NDT 経験月数」が 48 か月で UT3 を申請する場合

NDT 方法	経験割合 (%)	計算方法	NDT 別 経験月数	申請する NDT 方法・レベルの最低経験月数
RT	10%	48 か月 × (10/100) = 4.8 ⇒ 4	4 か月	—
UT UM	80%	48 か月 × (80/100) = 38.4 ⇒ 38	38 か月	≥ 36 か月
MT MY ME	0%	48 か月 × (0/100) = 0 ⇒ 0	0 か月	—
PT PD	0%	48 か月 × (0/100) = 0 ⇒ 0	0 か月	—
ET	0%	48 か月 × (0/100) = 0 ⇒ 0	0 か月	—
ST	0%	48 か月 × (0/100) = 0 ⇒ 0	0 か月	—
TT	0%	48 か月 × (0/100) = 0 ⇒ 0	0 か月	—
LT	0%	48 か月 × (0/100) = 0 ⇒ 0	0 か月	—
その他	10%	48 か月 × (10/100) = 4.8 ⇒ 4	4 か月	—
計	100%	—	—	—

④申請する NDT 方法の「NDT 別経験月数」が、右枠（上表の場合、UT）の「申請する NDT 方法・レベルの最低経験月数」を満足していることを確認してください。

申請する NDT 方法・レベルの最低経験月数は、「3. 工業に関わる経験とは」、又は、下表をご覧ください。

最低経験月数の低減を求める場合は、次の C 1 及び C 2 をご覧ください。

表 NDT 方法・レベル別最低経験月数一覧

NDT 方法 (略称)	レベル 1	レベル 2		レベル 3	
		レベル 1 資格保持者	レベル 1 資格非保持者	*2 2 年以上の工学又は科学の履修あり	*2 2 年以上の工学又は科学の履修なし
RT、UT、ET	3	9	12	18	36
MT、PT、ST	1	3	4	12	24
*IUM	2	—	—	—	—
*IMY、*IPD	1	2	3	—	—
*IME	1	—	—	—	—

*1 限定 NDT 方法
*2 技術専門学校又は認定された短期大学、単科大学若しくは総合大学で 2 年以上の工学又は（工学関連の）科学を履修

C 1 : レベル 2 申請者記入欄 (詳細については 3.1 項及び 3.3 項参照)

レベル 2 申請者で申請する NDT 方法のレベル 1 資格を有している場合、該当する資格の口に✓を記入し、認証番号と発効日、有効期限を記入してください。また、レベル 1 資格証明書コピーの提出が必要となります。

レベル 1 資格証明書コピーの提出がない場合、レベル 1 とレベル 2 の最低経験月数を合計した月数を満足しなければなりません。

C 2 : レベル 3 申請者記入欄 (詳細については 3.2 項参照)

レベル 3 申請者で 2 年以上の工学又は科学の履修をしている場合、履修を受けた学校名・学部・学科及び学校問合せ電話番号を記入してください。履修を証明するためには「成績証明書」の提出が必要となります。

ただし、以前に「成績証明書」を提出して「適格」となっている方は提出の必要はありません。既に「適格」となっている場合、記入見本矢印(青)の『L3 成績証明書確認』欄が「適格」、『レベル 3 新規認証申請者記入欄』が「履修確認済」と印字されています。

* レベル 3 申請者で最低経験月数の低減をしなくても、最低経験月数を満足している方は記入しなくても構いません。

裏面

RT3 非破壊 一部
 <NDT 経験内容記入欄>
 <レベル1 及びレベル2 記入欄>
 ・「レベル1 申請者」又は「レベル1 資格を保持していないレベル2 申請者」は、申請 NDT 方法の NDT 経験において次の技法や機器、材料等の一覧から用いたものすべてにチェックを記入すること。
 ・一覧にない技法や機器、材料等を用いた場合、その他の欄に記入すること。

NDT		
<input type="checkbox"/> 工業用 X 線装置	<input type="checkbox"/> 一般形透過度計	<input type="checkbox"/> 自動現像機
<input type="checkbox"/> 線 X 線装置	<input type="checkbox"/> 形透過度計	<input type="checkbox"/> 現像液、停止液、定着液、水洗剤
<input type="checkbox"/> 3 行計	<input type="checkbox"/> 有孔形透過度計	<input type="checkbox"/> 剤、表面活性剤
<input type="checkbox"/> γ線装置 (I/F) 5A	<input type="checkbox"/> 陰線計	<input type="checkbox"/> 工業用 γ線検出器
<input type="checkbox"/> γ線装置 (I/F) 5B	<input type="checkbox"/> γ線計	<input type="checkbox"/> γ線検出器 (セト)
<input type="checkbox"/> γ線装置 (I/F) 5C	<input type="checkbox"/> 内部線形撮影方法	<input type="checkbox"/> γ線計
<input type="checkbox"/> X線 γ線	<input type="checkbox"/> 内部 γ線撮影方法	<input type="checkbox"/> 放射線計 (RPL) 線量計
<input type="checkbox"/> パルス γ線	<input type="checkbox"/> 二重露光面撮影方法	<input type="checkbox"/> 光刺激ルミネッセンス (OSL) 線量計
<input type="checkbox"/> 中性子線 (I/F) 33j	<input type="checkbox"/> 二重露光面撮影方法	<input type="checkbox"/> 熱中性子線 (TLN) 線量計
<input type="checkbox"/> 中性子線 (I/F) 33k	<input type="checkbox"/> 濃度計	<input type="checkbox"/> 電子式線量計
<input type="checkbox"/> 金属箔増感紙	<input type="checkbox"/> 濃度標準剤 (F7/F7j)	<input type="checkbox"/> その他 1 ()
<input type="checkbox"/> 金属箔増感紙	<input type="checkbox"/> 濃度標準剤 (F7/F7j)	<input type="checkbox"/> その他 2 ()
<input type="checkbox"/> 線光増感紙	<input type="checkbox"/> 濃度標準剤 (F7/F7j)	<input type="checkbox"/> その他 3 ()
<input type="checkbox"/> 線光増感紙	<input type="checkbox"/> 濃度標準剤 (F7/F7j)	

<レベル2 及びレベル3 記入欄>
 ・「レベル2 申請者」は、申請 NDT 方法の NDT 経験記録を下表に少なくとも 3 件以上記入すること。
 ・「レベル3 申請者」は、申請 NDT 方法の NDT 経験記録を下表に 5 件記入すること。
 ・また、必要に応じ検査記録・報告書の提出を求める場合があります。

件目	設備・機器	対象物	規格規格等	実施日	記録・報告書番号	依頼元 会社名等	責任者・ 管理番号
1 件目							
2 件目							
3 件目		記入例	は実施案内を	ご覧ください			
4 件目							
5 件目							

私は、本紙新規格申請者の雇用責任者として下記①、②の内容を証明します。
 又、証明に当たり検理規程に同意します。
 ①本紙新規格申請書の記入内容の証明
 ②検方要求（送方検力）を満たしていることの証明（様式 V-1 に基づいて実施し、様式 V-1 原本を保管します。）

雇用責任者氏名と印	検査 太郎 (印)	印	証明日 2020 年 10 月 10 日
勤務先名	東京電機検査工業 (株)		
所属部署名・役職	品質保証部 部長		
勤務先住所	〒134-0077 東京都江東区豊洲 2-25-14 立花アネックスビル 10 階		
電話番号/FAX 番号	電話番号 03-5609-4074	FAX 番号	03-5609-4062

**D 1 : NDT 業務経験
 内容記入欄 (レベル 1
 及びレベル 2 記入欄)**

**D 2 : NDT 業務経験
 内容記入欄 (レベル 2
 及びレベル 3 記入欄)**
 ・レベル 2 : 3 件以上
 ・レベル 3 : 5 件

E : 雇用責任者証明欄

<申請レベルと NDT 業務経験内容記入欄>

申請レベルにより記入欄は次となります

申請レベル	D 1 : レベル 1 及び レベル 2 記入欄	D 2 : レベル 2 及び レベル 3 記入欄
レベル 1	必須	—
レベル 2 (レベル 1 資格非保持者)	必須	必須
レベル 2 (レベル 1 資格保持者)	—	必須
レベル 3	—	必須

D 1 : NDT 経験内容記入欄 (レベル 1 及びレベル 2 記入欄)

「レベル 1 申請者」又は「レベル 1 資格を保持していないレベル 2 申請者」は、申請する NDT 方法の経験において使用した機器材、実施した技法等すべてにチェックを記入してください。
 一覧にない機器材、技法等を用いた場合、その他の欄に具体的に記入してください。

D 2 : NDT 経験内容記入欄 (レベル 2 及びレベル 3 記入欄)

★「<巻末資料>レベル 2 及びレベル 3 用 NDT 方法別経験記入例」参照

「レベル 3 申請者」は、申請 NDT 方法の NDT 経験記録を 5 件記入してください。
 「レベル 2 申請者」は、申請 NDT 方法の NDT 経験記録を 3 件以上記入してください。
 必ずすべての項目を記入してください。記入漏れは不備となります。
 また、必要に応じ検査記録・報告書の提出を求める場合があります。

E：雇用責任者証明欄

雇用責任者は、倫理規程に同意した上で提出書類の記載内容を確認し、証明を行ってください。

14. 新規認証審査適格後の資格証明書発送スケジュール

新規認証審査適格後の資格証明書の発送は、認証申請料の入金確認後に行われます。

ただし、発送スケジュールは振込期限までに払い込みを済ませたものを対象としていますので、振込期限後に払い込まれたものは下表スケジュールに該当しない場合があります。

また、指定外の方法で払い込まれた場合、入金確認出来ませんので資格証明書は発送できません。指定の方法で払い込むようにしてください。

<資格証明書の発送予定>

下表振込日までに払い込みを済ませたものは、発送予定日までに発送いたします。

また、この期間は払い込みが集中することが予想されますので、入金確認した際の件数により、発送処理を適宜行うことを予定しています。

下表発送予定日から5日経っても届かない場合は、振込票の控えをお手元に用意し、お問合せください。

4月1日発効資格証明書

振込日	資格証明書発送予定日
2月20日	3月1日
3月20日	4月1日
4月20日	5月1日

10月1日発効資格証明書

振込日	資格証明書発送予定日
8月20日	9月1日
9月20日	10月1日
10月20日	11月1日

<巻末資料>レベル2 及びレベル3 用 NDT 方法別経験記入例

<RT の記入例>

- ・ レベル3 申請者は5 件記入。レベル2 申請者は3 件以上記入。
- ・ すべての項目を記入してください。記入漏れは不備となります。

設備・機器	対象物	準拠規格等	実施日	記録・ 報告書番号	依頼元 会社名等	責任者・ 管理者名
〇〇社製 R1W・JX-5	高圧ガス導管 配管溶接部	ガス事業法 JIS Z 3104 : 1995	20**/**/**~ 20**/**/**	検査報告書 2014R012	〇〇ガス(株)	検査太郎
〇〇社製 RF300EG-S3	溶接試験片	JIS Z 3104 : 1995	20**/**/**	〇〇研究所〇 年事業報告	〇〇建設(株)〇 〇研究所	検査二郎
〇〇社製 R1X200MC	鋳鋼品	JIS G 0581 : 1999	20**/**/**~ **/**	検査報告書 20150441	〇〇鋳造(株)	非破壊次郎
〇〇社製 RF250EG-S2	鋼製圧力容器 溶接部	JIS Z 3104 : 1995	20**/**/**~ 20**/**/**	〇〇報告書 KA120023-1	〇〇高圧容器 (株)	検査三朗
〇〇社製 R1W450MC	〇〇ビル	日本建築学会 検査基準	20**/**/**	RT50-140203	〇〇ビル管理 (株)	溶接五郎

<UT の記入例>

- ・ レベル3 申請者は5 件記入。レベル2 申請者は3 件以上記入。
- ・ すべての項目を記入してください。記入漏れは不備となります。

設備・機器	対象物	準拠規格等	実施日	記録・ 報告書番号	依頼元 会社名等	責任者・ 管理者名
〇〇社製超音 波探傷器 UT28X	建築鉄骨溶接 部	鋼構造建築溶 接部の超音波 探傷検査基準	20**/**/**~ 20**/**/**	検査報告書 TR2016A003	〇〇建設(株)	超音波一郎
〇〇社製フェ ーズドアレイ 探傷装置 FA-905EX	アルミ合金・銅 合金の拡散接 合に関する研 究	JIS Z 2352 超音 波探傷装置の 性能測定方法	20**/**/**	20〇〇 JSNDI 春季大会にて 発表	〇〇県産業研 究所〇〇年度 経常研究	亜鈴次郎
〇〇社製超音 波探傷器 DUT-01W	ガス導管溶接 部の自動探傷 装置の開発	ガス導管円周 溶接部の超音 波自動探傷法	20**/**/**~ **/**	20〇〇月刊超 音波探傷ニュー ース〇月号に 掲載	〇〇ガス(株)	自動三郎
〇〇社製超音 波探傷器 UT28X	圧力容器鍛造 部材の製造工 程中社内検査	JIS G 0587	20**/**/**~ 20**/**/**	〇〇製作所社 内検査報告 第〇〇号	〇〇化学(株)	鍛造四郎
〇〇社製超音 波厚さ計 MU-003	石油精製熱交 換プラントの 厚さ測定	省令〇〇号, 及び JIS Z 2355	20**/**/**	〇〇工場保全 検査報告書 〇〇-1201号	〇〇石油株式 会社	測定五郎

<MT の記入例 (MY の場合、MT の記入例を参考にしてください) >

- ・レベル3申請者は5件記入。レベル2申請者は3件以上記入。
- ・すべての項目を記入してください。記入漏れは不備となります。

設備・機器	対象物	準拠規格等	実施日	記録・ 報告書番号	依頼元 会社名等	責任者・ 管理者名
〇〇社製交流 極間式磁化器 MY-A	タンク溶接部	JIS Z 2320 非破壊試験・磁 粉探傷試験、危 険物の規制に 関する規則	20**/**/**	MTY2015005	〇〇石油(株)	極間次郎
〇〇社制定置 式磁粉探傷試 験装置 MT-01	付着磁粉と漏 洩磁束密度の 関係評価に関 する研究	JIS Z 2320 非破壊試験・ 磁粉探傷試験	20**/**/**~ 20**/**/**	日本非破壊検 査協会秋季講 演大会 20*年* 月*日にて発表	〇〇(株)〇〇年 度共同研究	磁気花子
機械部品用自 動定置形磁化 装置 AMT01 型	自動磁気探傷 装置の開発、 製造、技術サ ービス、販売	JIS Z 2320 非破壊試験・ 磁粉探傷試験	20**/**/**~ **/**	製品開発報告 書 MPR-001	〇〇(株)	電流貫太
〇〇社製磁粉 探傷装置 MT-25	ボルト	JIS Z 2320 非破壊試験・ 磁粉探傷試験	20**/**/**	MCT002	〇〇(株)	磁探太郎
〇〇社製磁粉 探傷装置 MT-315	建築鉄骨溶接 部	日本建築学会 鋼構造建築溶 接部の磁粉探 傷検査基準	20**/**/**	TR2016A003	〇〇(株)	極間磁郎

<PT の記入例 (PD の場合、PT の記入例を参考にしてください) >

- ・レベル3申請者は5件記入。レベル2申請者は3件以上記入。
- ・すべての項目を記入してください。記入漏れは不備となります。

設備・機器	対象物	準拠規格等	実施日	記録・ 報告書番号	依頼元 会社名等	責任者・ 管理者名
〇〇社製洗浄 剤 (除去液)、 溶剤除去性浸 透液、速乾式現 像剤	配管とフラン ジ溶接部	JIS Z 2343 浸 透探傷試験	20**/**/**~ 20**/**/**	KP20140102	〇〇(株)	浸透太郎
〇〇社製水洗 性蛍光探傷剤、 水洗ノズル	アルミダイカ スト (ケーシ ング)	JIS Z 2343 浸 透探傷試験	20**/**/**~ 20**/**/**	〇〇研究所〇 年事業報告書	石油精製プラ ント	染色次郎
探傷剤全般	基準探傷剤の 比較	JIS Z 2343 浸 透探傷試験	20**/**/**~ **/**	NDI PT〇〇〇	非破壊検査協 会浸透専門別 委員会	蛍光三郎
〇〇製後乳化 性蛍光浸透液、 乾式現像剤、ト リクレン洗浄 液	ガスタービン ブレード	GE 規格	20**/**/**~ 20**/**/**	SSC7812〇〇	発電業界	溶剤花子
浸透探傷機器	営業打合せ	社内基準	20**/**/**~ 20**/**/**	〇〇報告書 資料番号〇〇	探傷機器メー カ	水洗四郎

<ET の記入例>

- ・レベル3申請者は5件記入。レベル2申請者は3件以上記入。
- ・すべての項目を記入してください。記入漏れは不備となります。

設備・機器	対象物	準拠規格等	実施日	記録・ 報告書番号	依頼元 会社名等	責任者・ 管理者名
〇〇電力(株) 〇火力発電所 3号機	高圧給水加熱器	JIS Z 2305 JIS Z 2316	20**/**/**~ 20**/**/**	渦電流探傷検査報告書 ETR-12345	〇〇電力(株)	非破壊一郎
〇〇社製渦電 流探傷器 URZ-2000型	橋梁溶接部の 渦電流法による評価試験	JIS Z 2316	20**/**/**~ 20**/**/**	JSNDI 秋季講演 大会 20**/**/ にて発表	〇〇(株)20**年 度共同研究	非破壊二郎
〇〇工業(株) 〇工場検査機 器製造部	渦電流探傷器 及び異材判別 器の開発製造	JIS Z 2305 JIS Z 2316	20**/**/**~ 20**/**/**	試験報告書 ETR-12531	〇〇工業(株) 〇工場検査機 器製造部	非破壊一郎
〇〇製鋼(株)小 径管工場 A ラ イン渦電流探 傷装置	電縫鋼管	JIS Z 2305 JIS Z 2316 JIS G 0583 JIS G 3476	20**/**/**~ 20**/**/**	試験報告書 ETR-12384	〇〇製鋼(株)品 質保証部	非破壊二郎
〇〇航空(株) 〇整備工場	航空機のエン ジン及び機体 整備	JIS Z 2305 JIS Z 2316	20**/**/**~ 20**/**/**	試験報告書 ETR-12787	〇〇航空(株) 〇整備工場整 備課	非破壊一郎

<ST の記入例>

- ・レベル3申請者は5件記入。レベル2申請者は3件以上記入。
- ・すべての項目を記入してください。記入漏れは不備となります。

設備・機器	対象物	準拠規格等	実施日	記録・ 報告書番号	依頼元 会社名等	責任者・ 管理者名
動ひずみ測定 器 ST2-D 〇〇(株)	鋼橋主桁部材	NDIS 4402	20**/**/**	ABC123	〇〇高速道路 (株)	検査一郎
静ひずみ測定 器 ST321 (株)〇〇	CFRP 板材 引張試験片	NDIS 4402	20**/**/**	XY333	研究所内航空 機材料研究部	研究次郎
動ひずみ測定 器 ST3-DA 〇〇(株)	ロードセル AB352	社内規格 S008	20**/**/**	FS-003	社内品質保証 グループ	試験太郎
動ひずみ測定 器 DA99 〇〇(株)	モータ駆動軸	NDIS 4402	20**/**/**	201603-1A	社内設備管理 部	管理幸造
動ひずみ測定 器 ST2-D 〇〇(株)	A2024 材 CT 試験片	NDIS 4402 ASTM E 399	20**/**/**	B1	〇〇大学〇〇 学部〇〇研究 室	教育基樹